

No:10-01

EA21

 **ユニテック工業株式会社**

**2015年度 環境活動レポート**  
(対象期間2015年1月～2015年12月)

発行日 2016年5月9日

## 企業理念 「愛情と技術」

愛情ある環境の中で創造性あふれる機械づくりを通じて、地域社会に貢献していく。

□ごあいさつ

環境負荷を下げることは企業としての義務であると考えます。従来出来ることには取り組んできましたし、地域の「環境ネットワーク松永」への協力等もしてきました。これからは「エコアクション21」としてレベルアップし、計画的、確実に取り組んで行こうと存じます。

ユニテック工業株式会社

代表取締役 田口 裕司

## 環 境 方 針

ユニテック工業株式会社は、ものづくりを通して社会に貢献すると共に、今後ますます深刻化する地球温暖化や、予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、リフター、電動シリンダ、産業機械の製造における省エネルギー化、自然エネルギーの活用、又それを利用した装置の開発を進めていき、環境経営システムを通して、環境負荷の低減に努めていきます。また販売活動においても環境負荷の低減を図るための取組を全社一丸となって自主的・積極的に取り組んでまいります。

### <環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組めます。

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
- ③水資源の節水
- ④環境に配慮した製品の開発・販売促進
- ⑤事務用品、資材のグリーン購入
- ⑥地域での環境活動への積極的な参加
- ⑦取引先へ環境への取組普及活動

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

代表取締役社長 田口 裕司

改定日 2016年3月11日

□登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

ユニテック工業株式会社  
代表取締役社長 田口 裕司

(2) 所在地

本社(登記上): 広島県福山市松永町六丁目22番5号  
本社(実質): 工場: 広島県福山市南松永町三丁目5番45号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 村上 裕太  
連絡先 TEL:084-933-4027 FAX:084-933-4366  
E-mail: [info@uniteck.jp](mailto:info@uniteck.jp)  
HP: <http://www.uniteck.jp/>

(4) 主な製品

油圧リフター、電動リフター、電動シリンダ、ジャッキ  
産業機械: 食品関係の計量機、レース編機、放射性廃棄物処理設備、米の真空包装  
大型タイヤ製造用設備、義足製作用機械、フィルム巻出装置

(5) 社内設備

天井クレーン2. 8TON×2基、2TON、1TON×各1基  
フライス盤(No. 3)、NCフライス盤、長尺旋盤(3m)、汎用旋盤×2基  
ラジアルボール盤、溶接機×6基、塗装機、CAD×7台、3DCAD×2台

(6) 事業の規模

製品出荷額 3億円  
主要製品生産量 100 トン

従業員	25名
延べ床面積	880m <sup>2</sup>

事業年度 1月～12月

□対象範囲(認証登録範囲)

事業活動: 機械の設計製作及び販売  
対象事務所: 本社、工場

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年 (基準年度)	2014年 (実績)	備考
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	51,119	53,084	電気、燃料
廃棄物排出量	kg	2,527	4,135	
一般廃棄物量排出量	kg	1,327	1,035	
産業廃棄物排出量	kg	1,200	3,100	
総排水量	m <sup>3</sup>	98	154	

購入電力の二酸化炭素実排出係数：0.738 CO<sub>2</sub>-kg/KWh（中国電力：2012年）

□環境目標及びその実績

項目	年度	2014年	2015年		2016年	2017年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	38,615	37,843	42,696	37,070	37,070
	KWh	52,324	51,278	58,648	50,231	50,231
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	14,469	14,180	18,043	14,035	14,035
	ガソリンL	5,741	5,626	7,250	5,569	5,569
	軽油L	315	309	256	306	306
二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	53,084	52,022	60,739	51,105	51,105
一般廃棄物の削減	(Kg)	1,035	828	845	725	725
産業廃棄物（廃プラ）の削減	(Kg)	3,100	3,069	2,325	3,038	3,038
節水	(m <sup>3</sup> )	154	146	168	145	143
環境に配慮した製品の開発、販売促進引合い	(回)	0	0	0	0	0

□環境活動計画の取り組み結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画	活動計画の取組結果	次年度の取組内容
<b>電力の削減</b> ・冷暖房の控えめな使用 (暖房28℃ 冷房20℃) ・機械の空運転防止 ・ドアの開け放しの防止 ・圧縮空気の洩れ防止	×	目標値よりも約14%電力が増加した。昨年以上に今年度は仕事量が多く、残業や休日出勤が多かった。今年度から1ヶ月当たりの売上に対する電力の割合を調べることで、電力と売上に関係性を知ることができた。現在使用している機器を省エネタイプにするだけでなく、仕事の仕方とも考えていく必要があると思う。
<b>ガソリン使用量の削減</b> エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用	×	約30%増加した。今年度は出張で遠出で行くことが多かったので、増加したと思われる。一人ひとりがエコドライブを意識して運転することも大事だが、ハイブリット車の購入も考えないといけないかもしれない。
<b>一般廃棄物の削減</b> ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化	×	ゴミの計測を忘れた月があったにもかかわらず、目標を達成できなかった。計測を徹底し、削減できるように努める。
<b>産業廃棄物の削減</b> ・包装資材の使用を抑える ・設計変更による後工程処理の軽減 ・分別の徹底による有価物化 ・仕入材の再利用の促進	○	産業廃棄物委託処理は、マニフェスト発行から照合確認までの運用で適切に処理されている。次年度も、分別実施で有価物リサイクル率の向上に取り組めます。
<b>節水</b> ・雨水の利用	×	水道管が破裂していることに気付かなかった。修理して節水に努めていく。
<b>環境配慮製品の開発販売促進</b>	○	展示会の出品などを目指していく。
<b>グリーン購入</b>	○	今後も継続して行う。
<b>総括</b> ・今後は更に活動を全社に拡げ分担を決め、全体の意識を高めるようにする ・具体的な目標を定めて一つ一つ実行するようにする		

□環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	一般廃棄物、廃プラ
騒音・振動規制法	空気圧縮機
消防法	シンナー、塗料、灯油

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

□代表者による全体評価と見直しの結果

- ・環境方針の見直し: 見直しなし
- ・環境システムの各要素: 変更の見直し 有
- ・目標、環境活動計画: 変更の見直し 有
- ・EMSの適切性・妥当性・有効性: 有

□環境活動写真



●風力発電  
機械場の穴開け機の蛍光灯の電気を供給